

トピック(テーマ)	『富岡日記』の和田英		
ねらい	近代日本の胎動期に若い製糸工女がどう生きたかを描いた『富岡日記』とその著者和田英について調べる。		
キーワード	富岡製糸場 富岡伝習工女 寄宿所 機械製糸 渋沢栄一 イタリア式 フランス式 煮繭 繰り糸 一等工女 座繰り 午札騒動 松代藩 松代町 六工社 横田九郎左衛門 横田数馬 横田亀代 横田秀雄 小松健次郎 和田盛治 和田盛一 西条村製糸場		
概要を知るためのツール	1	書名	富岡日記 (大人の本棚)
		著者名	和田英／著
		出版社	みすず書房
		出版年	2011.2
		内容紹介	明治6年、16歳のときに同郷の長野県松代の女子15名とともに官営富岡製糸場の伝習工女となった著者が、技術の習得につとめた1年数か月の日々を綴った回想記。
資料リスト	1	書名	絹ひとすじの青春 (NHKブックス):『富岡日記』に見る日本の近代
		著者名	上条宏之／著
		出版社	日本放送出版協会
		出版年	1978
		内容紹介	内容は、第2章富岡製糸場と伝習工女たち―急がれた近代化の道、富岡製糸場の内と外、絹一筋の道(一)、絹一筋の道(二)、第3章ヨーロッパ文明の地域化と伝習工女―信州の小さな模範工場、器械製糸を貫いた松代工女、第4章横田英の相貌等が描かれている。
	2	書名	富岡製糸場と群馬の蚕糸業
		著者名	高崎経済大学地域科学研究所／編
		出版社	日本経済評論社
		出版年	2016.3
		内容紹介	2014年に世界遺産登録された富岡製糸場。日本の近代蚕糸業の興隆と衰退までを共にした産業遺産の軌跡と現況を、経済史や地域史、地域再生の視点などから明らかにする。
	3	書名	『富岡日記』と世界遺産富岡製糸場を歩く心の旅 (Y's BOOKS)
		著者名	和田英／著
		出版社	ワイズファクトリー
		出版年	2015.4
		内容紹介	工女になった松代藩士の娘が書き残した富岡製糸場の日常を、現在の中学生や高校生にも読みやすい「現代語訳」で紹介。富岡製糸場や富岡の街も、写真を交えて案内する。
	4	書名	富岡日記 (学習文庫)
		著者名	和田英／著
		出版社	古今書院
出版年		1931	
内容紹介			
5	書名	和田英	
	著者名	信濃教育会／編	
	出版社	信濃教育会	
	出版年	1972.11	
	内容紹介	遺稿:「我母之躰」、「富岡後記」続稿。追想:和田の伯母さんの思い出 横田雅俊著、和田英の思い出 和田愛著、祖母「和田英」について 和田一雄著、和田英をめぐる人びと 真田志ん対談を収録	
6	書名	信州の人物余聞	
	著者名	滝澤忠義／著	
	出版社	ほうずき書籍	
	出版年	2010.4	

		内容紹介	和田英、「夕焼け小焼け」の作曲家・草川信、日本最初の近代劇女優・松井須磨子はじめ、信州に縁の深い著名な57人の人となりにせまる。	
雑誌	1	論題名	和田英 富岡日記	
		著者名	上条宏之／著	
		雑誌名	信濃	
			出版年	1982
			巻号頁数	17巻5号
	2	論題名	特集 和田英	
		著者名	信濃教育会／編	
		雑誌名	信濃教育	
			出版年	1972
		巻号頁数	1032号	
3	論題名	富岡製糸場と工女のエトスー和田英(富岡日記)の場合		
	著者名	山崎 益吉／著		
	雑誌名	日本絹の里紀要		
		出版年	2008	
		巻号頁数	11号 79-88	
インターネット情報	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ	
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/	
		概要	和田英に関する資料が掲載されている。	
	2	サイト名	国立国会図書館サーチ	
		URL	https://iss.ndl.go.jp/	
		概要	富岡日記、和田英に関する資料を、図書・記事論文・デジタル資料などから探すことができる。	
	3	サイト名	富岡市立図書館 蔵書検索	
		URL	https://www.library-tomioka.annexis.jp/WebOpac/webopac/index.do	
		概要	「富岡日記」「和田英」に関する資料を、図書・記事論文などから探すことができる。	
新聞	1	記事	松代の蚕糸業、発信模索	
		発行機関	信濃毎日新聞社 朝刊29ページ	
		年月日	2018.4.13	
	2	記事	維新の残響(29)家計と日本経済を支えた製糸女工	
		発行機関	信濃毎日新聞社 朝刊11ページ	
		年月日	2018.2.20	